



令和5年度
あおば保育園

早いもので、もう3月ですね。一年の締めくくりの時期になりました。4月のころに比べ、心も体も大きく成長した子ども達です。残りの園生活も怪我や病気に気を付け楽しく過ごしていきましょう！

先月からインフルエンザが猛威をふるっており、園でも数名の子が感染していました。引き続き感染対策として手洗い、うがいを室内の換気を行い感染予防に努めましょう。

(2月の感染状況…インフルエンザA型1名、インフルエンザB型2名、溶連菌感染症1名、マイコプラズマ肺炎1名)



耳の役割って何？

- ★音を聞き、音の方向や遠近を聞き分ける
- ★体のバランスを保つ

正しい耳かきの仕方 耳垢って何？

★耳垢は、小さい虫、砂やほこりなどの異物が耳の中に入る事を防ぎ、外耳道の先にある鼓膜を守る働きをしています。

外耳道では、自浄作用があり鼓膜の表面から耳の入り口に向かって常に細胞が動いていて、耳垢を押し出そうとする力が働いています。原理から言えば、耳垢は自然に耳からこぼれ落ちます。そのため、最近では耳かきは不要という研究報告もあります。耳かきで耳の中に傷がつくと、炎症やかゆみの原因になる為、触る時は傷がつかないようにしましょう。

風呂上がりに綿棒でクイ！

- ★使い捨ての綿棒で、子どもの耳に合う細めの物を選ぶ。
- ★風呂上がりに、耳の入り口をクルリと一回転させる。
- ★奥まで綿棒を入れると耳垢を押し込んでしまうのでNG

耳垢が見えても取りづらい時は、無理せず耳鼻科を受診しましょう。



耳垢が見えても取りづらい時は、無理せず耳鼻科を受診しましょう。

●急性中耳炎とは

乳幼児に多く、風邪を引いた後に起こります。のどや鼻についた細菌が、咳やくしゃみにより耳管を通して中耳に入り、炎症を起こす病気です。耳の痛みが主な症状です。発熱の程度は様々で無熱の事もあります。乳児の場合、定期的な大泣きをしたり、耳に手をやる、耳に触ると痛がる、機嫌が悪いなどのサインを出します。

●滲出性(しんしゅつせい)中耳炎

鼓膜の内側の中耳にしん出液がたまる病気です。鼻の奥から耳管にかけて炎症が起こり、鼓膜の動きが鈍くなるため、耳が聞こえにくくなります。痛みや耳垂れ、熱などが無いため見つけにくいです。テレビの音を大きくしたり、呼んでも返事をしない等、聞こえにくくなって初めて気が付くことが多いです。必ず医師の診断を受けましょう。



3月の集会で、むし歯のない子・むし歯の治療が終了した子には、**賞状と歯ブラシ**をプレゼントします。(一歳児以上)

治療がまだの子は早めに治療し、治療勧告書を園に提出してください。